

# 『京都歴史災害研究 第十六号』原稿募集要項

2014年11月17日

立命館大学歴史都市防災研究所

立命館大学歴史都市防災研究所では、『京都歴史災害研究 第十六号』(2015年3月末刊行予定)に投稿する原稿を募集いたします。募集内容は、以下の要項をご確認ください。皆様の投稿をお待ちしております。

## 1. 募集するテーマ

歴史都市(京都に限定されない)における災害および防災に関する研究、文化遺産防災に関する研究、減災の知恵に関する研究、歴史災害(過去に発生した災害)に関する研究など

## 2. 募集する原稿

投稿できる原稿の種類は、次の3つです。

論文:研究論文

短報:研究の中間報告、短文

書評:テーマに関する内外書籍の紹介と批評

以下の2つは、当研究所の編集・出版委員会で集約いたしますので、情報がありましたら事前にご相談ください。

史資料情報:原文コピー、出典、(解説)

文献目録(データベースを含む):テーマに関する文献リスト

## 3. 投稿要領

投稿規定に従い、①原稿データ ②出力した原稿 ③立命館大学学術誌等掲載申込書の3点を下記問い合わせ先までお送りください。

なお、投稿された原稿は、当研究所の編集・出版委員会で査読を行います。このため、掲載できないことや修正をお願いすることがあります。

歴史都市防災研究所 HP <http://www.rits-dmuch.jp/>

## \*カラーチャージ

原則、モノクロ印刷とします。

図などでカラー印刷が必要な場合には、著者がカラーチャージを負担することで可能です。

その場合の費用は、4頁1セットとし、1セットあたり約65,000円、投稿申込以降のページ追加は1頁につき約30,000円となります。(印刷条件により金額が変わることがございますので、予めご了承ください。) カラー印刷が必要な場合は、投稿申込の段階でお知らせください。

費用の請求は、後日、印刷会社から行われます。

**\*別刷**

別刷は、1論文あたり50部を無料で作成いたします。

それ以上に必要な場合には有料となり、実費の請求は、後日、印刷会社から行なわれます。

投稿申込の段階でお知らせください。

投稿者より掲載承諾を得た論文については、刊行後、立命館学術成果リポジトリ「R-Cube」からPDFデータにて入手可能です。

**4. 締切日**

投稿申込締切日:**2014年12月3日(水)**

① 著者 ②タイトル ③ページ数 ④カラー印刷有無 ⑤別刷追加希望をお知らせください。

投稿原稿締切日:**2014年12月14日(日)**

①原稿データ ②出力した原稿 ③立命館大学学術誌等掲載申込書をご提出ください。

**5. 問い合わせ先および原稿送付先**

立命館大学 歴史都市防災研究所事務局

〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地

PHONE:075-467-8801(祝日を除く平日:9:30~17:00) FAX:075-467-8825

E-mail:heritage@st.ritsume.ac.jp

## 『京都歴史災害研究』 投稿規定

### 論文

#### (1)長さ

本文・注などをあわせて、2万字以内程度。

写真・図・表は多くならないようにし(あまりに多い図表は、削除していただくことがあります)、印刷後の仕上がりでA-4版におさまる程度。

#### (2)本文および注

ワープロ原稿でお願いします。

原稿は、A4判縦置き、1頁40行、1行に40字で打ち出してください。

その際、使用したソフト名も記入してください。

#### (a)本文

注番号は、該当箇所の右肩に、①②のように片括弧、全編通し番号で記入してください。

本文の最初に、タイトル、著者名(所属)をお書きください。

章はI、II、III、節は1、2、3、項は(1)、(2)、(3)とします。

#### (b)注

本文の末尾に、まとめて記述します。

##### 記載方法

著者名:共著の場合は、全著者名を列記することを原則としますが、他何名(英文の場合は、et al.)と略記することも可能です。

編者名:共編は、著者に準じます。

書名:叢書の中の1冊の場合は、書名の後に叢書名を添記します。

(例)立命館大学「テキスト文化遺産防災学」刊行委員会『テキスト文化遺産防災学』、学芸出版社、2013、247頁。

北原糸子「東京市政調査会作成の関東大震災避難者カードについて」京都歴史災害研究12、2011、23～30頁。

土岐憲三「文化遺産と地震対策」、(立命館大学文化遺産防災学「ことはじめ」篇出版委員会『文化遺産防災学「ことはじめ」篇』、アドスリー、2008、12～26頁。)

Ooka,Y.,Izuno,K.,and Toki,K. "Earthquake Response Analysis Traditional Wooden Structures Considering Member Aging", *Journal of Disaster Research*, Vol.6,No.1,2011,pp18-25

#### (c)参考文献

注に続いて、参考文献(本文中に引用していないものの参考にした文献)を挙げるができます。和文(五十音順)、英文(アルファベット順)で列挙してください。

(3) 図表および写真

図・表・写真は、それぞれ第 1 図、第 1 表、写真 1 などとし、全編通し番号をつけてください。

それぞれの大きさは、A4 判におさまるように、刷り上がりの大きさも指定してください。本文中に、これら挿入する箇所を、欄外余白に赤鉛筆で記入ください。

そのまま、印刷ができる状態にして提出ください。

**短報**

(1) 長さ

本文・注を合わせて、1 万字以内程度のもものとします。

(2) 本文・注・図・表・写真など

論文に準じます。

**書評**

(1) 長さ

本文・注などを合わせて、3,000 字以内程度のもものとします。

(2) 本文・注・図・表・写真など

論文に準じます。